

## 令和3年度のアクションプラン（2学期）

### 【アクションプラン1】

重点項目	学習指導（うんとかんがえる子・・・知）
重点課題	◆ 活用・探究型授業の実施
具体目標 数値指数	・学期毎に端末を活用した問題解決的な学習や新聞を活用した学習を実施した学級の割合 100%
取組	・端末を活用した問題解決的な学習（調べる・まとめる・伝える）や新聞を活用した学習を計画的に実施する。
結果	実施率 100%
成果と課題	<p>〈 端末の活用 〉</p> <p>実施した教科は国語、社会、算数、生活科、総合的な学習の時間、学級活動</p> <p>○文と写真と動画があることで、興味関心が高まり、意欲的、主体的に課題に取り組み、考えが深まった。教科書に掲載されていない自分の調べたい内容を詳しく調べることができた。</p> <p>○端末でQRコードを読み取り、生き物や乗り物の動画を見て課題解決をする。図鑑と比べ視覚的にも詳細に理解することができた。特に配慮を要する児童には、画像を見てイメージしやすくなった。</p> <p>○朝の活動の時間にロイロノートを活用し、朝食の内容やその日の体調について答えさせ、使い方に慣れさせることによって、端末の立ち上げからパスワードを入力しアプリケーションを開くまでが自然に身に付いた。</p> <p>○ロイロノートを使うと類似点や相違点の比較が一目でできる。また、まとめることで自然とプレゼンのようになり、ノートではできない学びの深まりがあった。（比較→仲間分け→気付き）また、ノートをカメラで撮って提出させることで全員の考え方を知ることができ、参加意識が高まる。</p> <p>○学習アプリの導入により、1学期よりも活用範囲が広がった。</p> <p>○学年をまたがる学習や自学では、自分で操作ができるので個別学習に役立った。</p> <p>△端末の使用の仕方個人差・クラスの差があり、ICT支援員やスタディ・メイト等手助けが必要。</p> <p>△使用に慣れてくると、いろいろな使い方を試すようになってきた反面、学習に関係のない使い方をする児童もいた。再度、端末の使い方を指導する。</p> <p>〈 新聞の活用 〉</p> <p>○高学年では、社会科（政治）や国語科（新聞の構成、文章の構成）で新聞を活用できた。他学年では、記事を紹介することで、新聞に興味をもてるようになった。</p> <p>△新聞を購読していない家庭や読めない漢字が多く、一斉に宿題にすることができない。</p>
今後の方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT支援員やスタディ・メイトに支援してもらい、授業で端末を積極的に使用していく。</li> <li>・学習アプリの導入により、端末を自宅に持ち帰って、自主学習等で使用頻度を上げていく。ドリルだけでなく、付属のアプリの活用もしていく。</li> <li>・低学年では、読めない漢字や内容が難しい新聞記事が多い。教師が記事を説明しながら紹介していく。</li> <li>・学習に活用できない学年は、朝の活動や帰りの会等、短い時間を見付けて新聞記事を紹介、解説していく。</li> </ul>

## 令和3年度のアクションプラン

### 【アクションプラン2】

重点項目	生徒指導（なかよくする子・・徳　きれいなところの子・・心）
重点課題	◆ 自他を尊重した挨拶や言葉遣いの推進
具体目標 数値指数	・宇奈月小学校の温かい言葉「あさがおさいた」（相手を認める場面）を広げる時間の毎日の実施率90%以上
取組	・宇奈月小学校の温かい言葉「あさがおさいた」（相手を認める場面）を広げる時間を毎日教師が意図的に設定する。
結果	実施率 100%
成果と課題	<p>○どの学年も、帰りの会に意図的に設定し、確実に取り組んでいる。学級活動や行事等の時間にも取り組んでいる学級もある。</p> <p>○発表の時間に挙手した児童の名前をアサガオの折り紙に書いて掲示したところ、指名されず発表できなくても、友達のよいところを進んで見つけようとする姿がたくさん見られた。</p> <p>○授業での、ペア活動やグループ活動のことについても、お互いのよさを見付けてほめ合うようになってきた。</p> <p>○些細なことでも、よかったこと、友達のよいところとして捉え、発表するようになってきた。</p> <p>○「あさがおさいたタイム」以外でも、「ありがとう」等の温かい言葉を掛け合っている。</p> <p>○宿泊学習の際に、グループごとに取り組んだことで、全員が話す機会を設定することができ、よい雰囲気づくりにつながった。</p> <p>○友達の一日の振り返りの発表に対して、「がんばったね」「よかったね」「がんばってね」等の言葉を、笑顔で伝えている。（知的級）</p> <p>○一日の時間割を見ながらお互いのがんばったことを伝えていたので、気持ちよく帰れることが多かった。（自情級）</p> <p>○企画委員会が取り組んだ「あさがおさいた運動強調週間」の「あさがおさいたカード」の取組には、自主的にカードを書く姿が見られたし、普段発表できない児童も、カードに書くことで友達のよいところを伝えることができた。</p> <p>△発表する児童が固定化する傾向にある。</p> <p>△発表できない児童への声かけが必要である。</p> <p>△日常生活の場で「ありがとう」「ごめんなさい」等の言葉をあまり使えていない。</p>
今後の方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が朝のうちに友達の行動を観察するように声かけし、発表できるように意識させる。</li> <li>・名前が上がらない児童には教師や日直が観察して褒めるなど、多くの児童のよさを取り上げたり広めたりできるような工夫をしていく。</li> <li>・授業での活動や行事等の内容を踏まえ、互いのよさを見付けて伝え合いやすい機会を捉えて、柔軟に取り組んでいく。</li> <li>・ペアで互いのよさを伝え合う、制限時間を決めていろいろな友達と互いのよさを伝え合うなど、取組の方法に変化や幅をもたせていく。</li> <li>・2学期もペア学年でミニ集会を行った。今後も、ねらいと目的を明確にした縦割り班活動を実施し、学年に応じた振り返り活動を行うことで、異学年の友達と触れ合うよさを味わうことができるようにしていく。</li> <li>・全校で人権集会を行い、言われてうれしい言葉（ほわほわ言葉）と言われて嫌な言葉（ちくちく言葉）について考えた。今後も機会を捉えて自分たちが使っている言葉等を振り返り、互いを尊重し合う気持ちの育成に取り組んでいく。</li> </ul>

## 令和3年度のアクションプラン（2学期）

### 【アクションプラン3】

重点項目	保健指導（つよいからだの子・・・体）
重点課題	◆ ゲームやメディア利用の目標設定
具体目標 数値指数	・毎週水曜日に、教師がゲームやメディアとの付き合い方の目当てをもたせる 実施率95%以上
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校保健委員会で大坪先生から指導いただき、ゲームやメディアが心や体の健康に与える影響について理解する。</li> <li>・毎週水曜日に子供が自分で取り組めそうな工夫や目当てをカードに書く。保護者からのコメントをもらう。</li> <li>・1か月を通して、メディアコントロールカードの目当ての実践が全て「できた」であった子供の名前を給食時の放送で紹介する。</li> <li>・学校保健委員会後の取組として、メディアコントロールデーの各クラスの合い言葉を考える。3学期にその合い言葉のもと、メディアコントロール月間を設けて、メディアとの付き合い方の意識を高める。</li> </ul>
結果	実施率 97%
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○メディアコントロールカードの目当てを書く時間を確保し、配り忘れ等がなかったため、目標を達成できた。</li> <li>○メディアコントロールカードの目当ての実践が全て「できた」だった人を発表したのが効果的だった。</li> <li>○学校保健委員会では、大坪先生のゲーム障害に関するインパクトのあるお話により、ゲーム障害を予防しようとする意識が高まった。</li> <li>○学校保健委員会の対象は3～6年生であったが、1、2年生にも保健委員会のビデオを見せ、メディアコントロールへの意欲を高めた。</li> <li>○インターネット依存度テスト（IAT）を子供と保護者に実施し、個別に依存度を知らせることができた。また、学校保健委員会でIATの集計結果を基に発表し、みんなで気を付けようとする意識を高めることができた。</li> <li>△クラス全体の合い言葉を家庭で積極的に実践していく手立てが必要である。</li> </ul>
今後の方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアコントロールデーの取組はゲームだけではなく、テレビ、YouTube、スマホ、タブレット、ビデオ視聴の時間を減らすための取組であることを教師間で共通理解を図る。</li> <li>・メディアコントロールデーの合い言葉は、3学期に各クラスの代表が放送で発表し、玄関とクラスに掲示する。1月の実践の結果を見て、各クラスで話し合ってもらい、結果を放送で発表する。さらにどうすればメディアとうまく付き合っているのか、学級活動で学年に応じてメディア利用について考えさせる時間を設けてもらう。</li> <li>・メディアコントロールのカードに書かれた保護者の言葉や子供たちの言葉を保健だよりや学年だより等で紹介していく。</li> <li>・3学期もIATを実施し、9月からの変容を把握し、次年度の対策を考える。</li> </ul>